

安心して住みよい町に！

議会だより

からうら

町議会動く！ ② ▶ ③

9月定例会・修正動議提出

④ ▶ ⑤

果樹研究所廃止 ⑥

8議員が一般質問 ⑦ ▶ ⑭

安心の防災 ① ⑮

ごっついぞ！勝中クラブ活動 ⑯

かせヨロズとびぞば
みんなの熱意！

No.57

2011.10.30発行

横瀬小学校運動会

町議会動く!



県へ要望

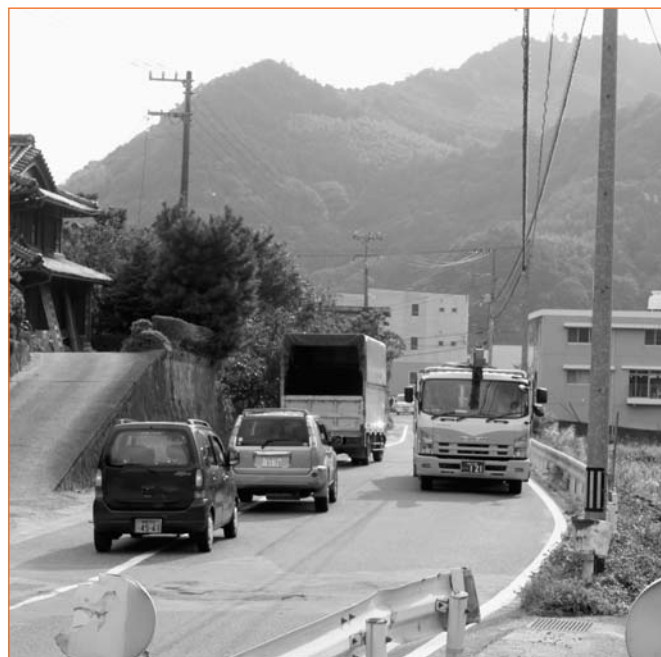
「農業・交流・定住のまち」を将来像に掲げまちづくりに取り組んでいるが、人口減少に歯止めをかけ、町の発展には基幹道路の整備が最重要課題である。

9月16日に全議員が県庁へ出向き、岡本県会議長を通じて要望をしました。



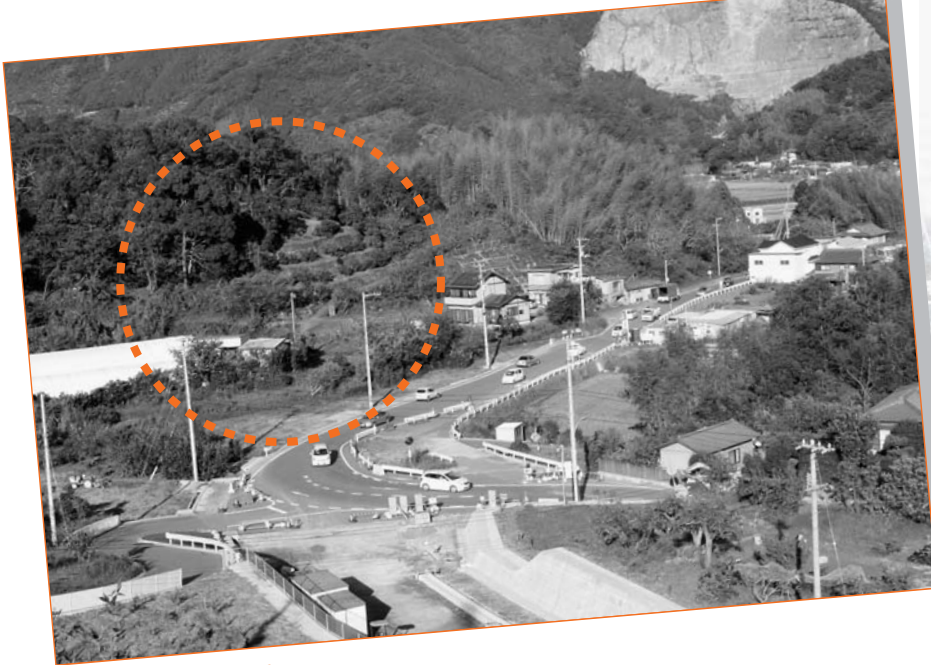
② 新浜勝浦線(星谷地区)

生活道であり、防災上も非常に重要な幹線である。改良、改修を強く要望。



① 県道上那賀線、長柱工区の早期2車線化を

青葉荘東側の狭い部分は車の対向が難しく危険である。早期の拡幅を要望。



③ 沼江バイパス
2期工事が今年度中に完成するが、全線整備を要望。



主な要望事項

- ① 徳島上那賀線の完全2車線化
- ② 新浜勝浦線の改良、樹木の伐採
- ③ 勝浦羽ノ浦線沼江バイパスの全線整備
- ④ 鶴林寺大井線の供用開始
- ⑤ 勝浦川南岸堤防の改修



④ 鶴林寺大井線の供用に向けて
世界遺産の登録をめざすへんろ道と併せ、県道供用開始の早期実現を。



⑤ 中角堤防の改修
台風6号により南側から瀦水が発生。早期着工を。



すだちの販路拡大を
「新鮮なっ！とくしま号」を活用して、首都圏へのすだちのPRを積極的に。



星谷運動公園、北側の舗装を
「町から要望があれば河川の専用を許可する」との回答があった。

那智勝浦町へ

災害見舞金を

一般会計補正予算 8,710万円

●●●● 主なもの ●●●●

- 林道開設事業費 3,113万円
 - 道路橋りょう費 2,450万円
 - 県単急傾斜地崩壊対策事業費 1,600万円
 - 災害見舞金 100万円
- 特別会計補正予算
- 農業集落排水事業 2,030万円

9月
定例会

新たな補助金に議論集中

修正動議提出

土石流が町に！

9月定例会は7日から15日まで開かれ、22年度の各会計決算認定9件。条例の改正と23年度の補正予算などが提案されたが、修正動議が提出された。採決の結果、原案通り可決しました。

また、追加議案として「固定資産評価審査委員会委員」の選任、一般会計補正予算が提案され、可決しました。

一般質問には8議員が、町の政策などを問いました。

勝浦ネットワーク

那智勝浦町へ

町長・議長らが

災害見舞い（10月3日）

9月3日の台風12号は紀伊半島に大災害をもたらした。3日間で1200ミリを超える記録的な雨量は、那智川に注ぐ谷川の土砂を押し流し、下流域の民家は濁流と土砂に埋まり、25人が犠牲になった。

町長・議長らは町からの見舞金100万円を寺本町長に手渡し、午後から奥様と長女の合同葬儀があり出席しました。

また、災害現場も視察したが、那智の滝など観光名所は見る影

もなく、土砂を取り除くだけでも4年かかると言われる。本町でも何かお手伝いができるればと、現在、3カ所で義援金箱を設置している。ぜひご協力を。



補正予算提出に賛否 地籍調査補助金

燃える論戦

問 国清議員 地籍調査推進委員補助金16万円が唐突に提案されたが、算出根拠(要綱)が示されていない。

この事業の今までの経緯や将来に向けて予算増を考えると、新たな補助金として補正で出さなければならぬほどの緊急性があるのか。

答 産業建設課長 算出根拠は一日8000円の20日分である。

答 総務税務課長 早期の事業推進のため、この補助金は緊急性がある。

しかし事業が終わっている地区もあり不公平感はある。

問 国清議員 会計で、要綱もない補助金の支払いができるのか。

答 会計管理者 要綱もない補助金の支払いはできない。

問 川端議員 会計管理者から「要綱がなければ支出できない」と答弁があったが、適切に予算査定がされたと言えるのか。

副町長 予算査定時に、補助要綱が必要と言う規定はない。



地籍調査が完了した棚野地区

修正動議(概要)

提出者 美馬議員

賛同者 国清議員

地籍調査は平成16年度から始まった事業で、棚野地区では「自分の財産は自分で守る」と言う意識を徹底し、現地の草刈りや、くい打ちを手弁当でしてきた。これら一生懸命取り組んできた意識と努力の検証もせず、今回、唐突に補助金が提案され納得いく説明もない。これは公正、公平性に欠けており不透明である。よって今回の補正予算の地籍調査補助金に、修正動議を提出する。

討論

反対討論 森本議員

この事業は当初の計画より大幅に遅れている。土地所有者が境界の整備をするのは当然であるが、利用されていない赤線の草刈りを3役だけの奉仕では間に合わない。事業を早く進めるためにも動議に反対する。

賛成討論 国清議員

地籍調査に補助金を出すことには理解をしている。町が補助金創出の基本的なところを全く理解していないし、説明もできない。貴重な税金を使うことに「何でも認める議会であってはいけない」。当初予算に向けて検討してもらいたい。

反対討論 節議員

予算提出までの手続に問題点もあり反省を求めたいが、地籍調査の重要性から推進を後押しする見地で予算は必要であり、修正案には反対する。

修正案採決 反対6・賛成3

反対議員 麻植、河野、節、森本、山野、井出

賛成議員 美馬、国清、川端

修正案否決・原案可決

新たに固定資産評価審査委員に

大谷智彦氏(坂本)の選任に

同意しました

総務産建常任委員会

8月30日、9月定例会に向けた委員会を開催し、補正予算や条例改正などを審議しました。

果樹研究所が廃止に

農林水産業を総合的に支援する「知の拠点」の構築のため、農業大学校や森林林業研究所などを統合し、平成25年度に石井町に農業研究本所が整備されるのに伴い廃止される。

林道「婆羅尾岩屋線」

舗装整備

全長7・3kmのうち約3100万円の予算で0・9kmをアスファルト舗装し、未舗装の残りは3・5kmとなる。



舗装予定の婆羅尾岩屋線

山腹崩壊の土砂撤去

棚野立川地区の大規模な山腹崩壊による町道の土砂を撤去のため、500万円を計上。



大規模な山腹崩壊が発生

「道の駅」

備品購入に132万円

問 冷凍・冷蔵庫やレンタルバイクを購入するということだが、当初予算で手当てすべきでなかったか。

答 物産品の品数が増え、冷凍を要する商品が多くなり必要となった。

文教厚生常任委員会

9月定例会に向けての委員会を8月31日に開催し、補正予算などを審議しました。

選挙「期日前投票」

システム化

最近の選挙において仕事などの都合で、期日前投票をする人が急増しており、事務効率化のためシステム化に向けて420万円を補正。

農業集落排水施設の機能強化

横瀬の農業集落排水施設の機能強化に向けて、計装盤などの改修のため2,030万円を補正。委員会では確認のため施設を視察した。



改修される計装盤

洪水対策

砂利採集を

直ちに災害には結びつかない（町長）

河野道雄 議員



問 星谷橋下流に大量の砂利がたい積している。台風時には水の流

れが阻害され、水位が上昇し河川の氾濫が心配されるが、

答 副町長 危険と認められる箇所があれば、県に適切な対応をお願いして行きたい。

答 町長 部分的にたい積している所はあるが、直ちに災害に結びつくような状況ではない。



砂利がたい積し、ヨシガヤが生い茂る川原

災害時の住居対策

町営住宅の利用は可能か

問 災害時の避難場所として町営住宅の利用は可能か。

答 町長 住宅が被災した場合、緊急的には集会所などに避難してもらい、次に空き家があつせんして行きたい。今後、そうしたシミュレーションを考えながら対応して行きたい。

ヨシガヤの有効利用は

問 川への進入は容易であったが、今はヨシガヤが繁茂し進入を妨げている。本町ではヨシガヤを環境美化のために刈り、川原にそのまま放置しているが問題はないのか。

答 副町長 また、農業面での有効利用を考えては。

答 産業建設課長

刈り取ったヨシガヤの放置は問題がないとは言えない。

答 町長 刈り草の利用については

以前にも広報で知らせた経緯もあり、町民が利用してもらえればありがたい。

児童生徒の体力低下

トレーニング器具の導入を

現場の声を聞き、取り入れたい（町長）

問 徳島県の児童生徒の体力は低いレベルにあり、成長ざかりの体力は学力と共に優先すべきであると思う。小・中学校にトレーニング器具を設置してはどうか。

答 教育長 体力づくりには、規則正しい生活をしながら、総合的な運動が大切である。トレーニング器具を使うと特定の部分に負荷がかかるのではないかと。

答 町長 本町でも子供供の体力向上が課題となっている。学校家庭でも運動習慣を身につけ、正しい食を通じ健康増進を図ってもらいたい。

器具導入については学校現場の声を聞いて、必要なものがあれば積極的に取り入れたい。



麻植秀樹 議員

中角堤防

南側から^{ろすい}瀧水

ボーリング調査を実施（産業建設課長）



瀧水した中角堤防

問

台風6号による増水で、中角堤防南側から瀧水が発見された。県に依頼しボーリング調査を行うと聞いていたが、その結果は。

また、今後の工事計画は。

答

産業建設課長

河川管理者の県に報告し、河川災害としてボーリング調査を実施した。測量が終わり設計ができれば災害査定を受けると聞いている。工事計画については、査定後に決まる。

中角通学路 いつ完成か

今年度中に完成（産業建設課長）

問

現在、工事の中の中角通学路はいつ完成するのか。

また、小学校東側より通学する児童にとって、通勤車両との接触事故の危険性がある。以前にも計画があったと聞くが、何か対策は。

答

産業建設課長

中角通学路は今年度には完成する。

また、東側も同様に狭い部分があり、十数年前には、県道拡幅と二車線化と歩道整備を計画したが、関係者の理解が得られず中断したままで、現在、改良の計画はない。

交通安全の要望の箇所と実施状況は

問

各区長より要望のあった交通安全施設の箇所数と工事完成率は。

また、未完成部分の対応は。

答

産業建設課長

平成22年度の要望箇所数は36カ所あり、工事実施は13カ所で完成率は36%である。平成23年度は30カ所の要望が出ている。これらについては、今後、交通安全協会の役員と共に現地踏査し、工事箇所を決めて行きたい。

どうなった 中角バイパス計画

問

10数年前、交通安全対策として中角バイパスの計画があったと聞いているが、その後はどうなっているのか。

答

町長

中角バイパスの工事計画があったと聞いているが、国、県レベルでの事前協議以前に地元調整が十分でなく、不調に終わったと聞いている。



普通教室にエアコン設置を

十分検証し検討（町長）

美馬 友子 議員



問 普通教室は生徒が1日の大半を過ごす場所である。集中して学習でき豊かな感性を育てる場としての室内環境を確保するためには、エアコン設置が必要ではないか。

答 町長 計画は、自然と共に呼吸する建築デザインであり、設計上の工夫の成果を十分検証してからでもエアコン設置は遅くない。

人材育成

職員体制は 大丈夫か

問 住民サービスを高め、活気ある行政であり続けるためには、人材育成は重要な施策である。勝浦町総合計画では「人づくりがまちづくりの基本」として力を入れると明確にされているが、現在の職員体制で大丈夫か。

答 町長 「勝浦町人材育成基本方針」に基づき、県の自治研修センターや、千葉の市町村アカデミーでの研修を実施し、県庁へも職員を派遣してきた。

限られた人員体制の中で、能力を活かせる人材配置に努める。



戸別受信機

電池・ボリュームの確認・設置場所も考えましょう

問 行財政運営を総合的、効率的に推進していくためには、人事評価制度や目標管理は必要なのでは。

答 副町長 人事の公平性、透明性を高めることは、職員のモチベーションにもつながる。

今年度から自己申告制度について試行的に導入する。

夜中の避難勧告は問題では

問 台風12号による夜間の避難勧告のあり方に問題はなかったのか。

また、防災無線で全戸に案内できているのか。

答 町長 正木ダムから9月2日の午後11時

過ぎに、3日の午前2時ごろに「ただし書き操作」をするとの連絡があった。避難所の準備等を整えて放送した。

答 総務課長

屋外の固定型の無線、室内の戸別受信機で連絡体制をとっている。電波障害は聞いていない。

問 午後11時過ぎに分かった時点で避難勧告の発令をしていたら、夜中の1時半よりは避難しやすかったのではないか。

答 町長 早く速報を出すのが正しいのか、見守りながらということも考えながら、今後慎重に対応して行きたい。

その他の質問

- 救急患者輸送業務について
- 町民の健康維持増進について

農機具

無料点検の実施を

営農講座で講習会を計画(産業建設課長)



山野忠男議員



農機具の無料点検や指導を

問 高齢者や女性の農機具を使っての作業は「うっかりミス」もあり、いつ事故が起きても不思議ではない。農機具の無料点検・指導を行っては、

答 産業建設課長 営農講座では事前に技術者会で協議をしているので、機械の取り扱いや注意事項は、希望者があれば説明会や講習会を計画したい。

みかんの生産状況と台風被害は

問 今年は表年だが、雨量も多く生理落下も多かった。生産量の予想と台風被害の状況は。

答 産業建設課長 23年度の生産量予想は全国で89万t、徳島県で1万5000t余りとされている。

また、台風の影響で雨量が多く、黒点病などによる品質低下が心配される。

特養施設

待機者の解消を

ショートステイなどで対応(福祉課長)

問

特養施設の入所希望待機者は1000人を超えている。今後の増床計画や待機者の解消法は。

答

福祉課長 施設の増床は圏域での整備計画があり、第4期分(21年〜23年度)では県は増床の認可をしない方針である。

待機者の中で緊急性の高い人は、ショートステイや他の施設・医療機関を紹介するなど対応している。

問

台風6号で山腹が崩壊し、赤線が200メートルにわたり大量の土砂がたい積した。

12号では東の斜面が崩壊し、農道まで土砂が接近している。大災害になる前に対策を。

答

産業建設課長 土砂の取り除きをするよう業者に要請しているが、まだ処理や対策ができていない。上部の岩も危険で、合わせて取り除きを要請している。今後も十分監視を続けたい。



大量の土砂がたい積

与川内、大平谷の土砂対策は

業者に取り除きを要請(産業建設課長)

自然エネルギーの取り組みは

小・中学校に太陽光発電を設置(副町長)

森本 守 議員



問 伊方発電所で重大なトラブルが発生した場合、四国電力がマスコミに発表と同時に徳島県へも通報することが合意されているが、「放射線漏れなど重大事故の時」と書かれている。このことが前提では安心できないのでは。

答 町長 私は、徳島新聞社のアンケート調査で、現有の原発運転に対し「早急かつ厳正な安

全評価を実施し、揺るぎない安全性が確保されたもののみ継続すべし」と回答している。今後も、県内の情報を十分把握し対応したい。

問 全国には町おこしとして、自然エネルギー開発を進める先例があり、近隣の上勝町、佐那河内村、那賀町などでも研究し実用化に向かっていくが、町の取り組みは。

答 副町長 国の「再生可能エネルギー特別措置法」の施行により、企業の発電事業への参入が促進されている。今後、家庭用の太陽光発電設備の設置が促進されると想定している。

本町では、横瀬小学校と勝浦中学校で耐震化工事に併せて太陽光発電設備を設置する。

本町では、横瀬小学校と勝浦中学校で耐震化工事に併せて太陽光発電設備を設置する。

駅伝補助金の増額を

郡町村会で協議(町長)

問 徳島駅伝も「第58回」を迎える。

駅伝は、1年を通じて練習を続けなければ良い成績を残すことはできない。

郡町村会と主催者である新聞社にも補助金の増額と、小さな郡でも対等・公平な戦いができる大会になるよう要望してもらいたい。

答 町長 郡町村会の補助金増額については、実情を話し協議したい。

新聞社には、勝浦郡民の熱い思いのなかで大会ができたらと考えている。

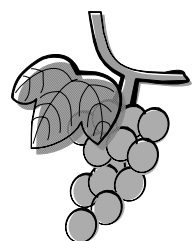


新春に向けて汗を流す

危険な避難所へ避難?

状況により変更?

(総務課長)



問

台風12号接近の9月3日に避難勧告が出され、避難所6カ所が指定された。その内4カ所が町の防災計画では、大雨による堤防決壊時などには使用できない施設であるが、どう判断したのか。

答 総務課長

防災計画では、浸水水位の状況により避難所を指定している。堤防決壊にはその兆候もあるため、それによって判断し避難所の変更など住民の安全性を確保する。

「憩いの場」の提供は

改善していく（副町長）

部 公一 議員



する計画であったが、十分な機能を提供できていない。どのように対応するのか。

答 産業建設課長

今後の人員体制については最低4人は必要で、場合によっては、さらに1人増員が望ましい。

答 副町長

交流の場としての機能が提供できるよう改善し、基本コンセプトに近づきう十分に検討して行く。

問

道の駅がオープンして半年、スタッフの努力もあり おおむね順調に推移しているが、現状の問題を検証し、より良いものにするための改善が必要である。

当初の人員体制は2人の予定であったが、現状は5人で運営している。今後の必要人員は何人か。また、飲食コーナーなどを「憩いの場」として活用



アイデア豊富なスタッフ

再生可能エネルギー普及促進は

問 「再生可能エネルギー特別措置法」が成立し、来年7月施行に向け動き出した。スマートグリッドと呼ばれる「次世代送電網」は日本再生の切り札と言われる、

企業や家庭が主役になる。町は普及促進にどのような展望を持っているのか。また、節電対策も重要だが町の動きは。

答 町長

現在、「地球温暖化対策実行計画」に基づき学校施設に太陽光発電を設置したり、風力発電事業に参加するなどしているが、企業や

答 総務税務課長

節電対策として「電源立地地域対策交付金」を活用し、約507万円の予算で今年度中に防犯灯113基をLED化する。

道路情報板の増設を

問

現在、勝浦町内の県道には道路情報板が1基しかない。交通安全対策として、道路や気温の情報を提供するため増設を県に要望すべきでは。

答 町長

すでに温度計を2カ所増設する要望書は県に提出してある。通行上の安全に役立つように、情報板も併せて増設できるように要望する。



安全対策に必要な情報板



井出美智子議員

中学卒業まで医療費の無料化を

財政面を考慮し検討（町長）

新たな加工品づくりを

熱心に取り組んでくれるグループなどがあれば、講習会を開催するなど検討したい。

答 産業建設課長

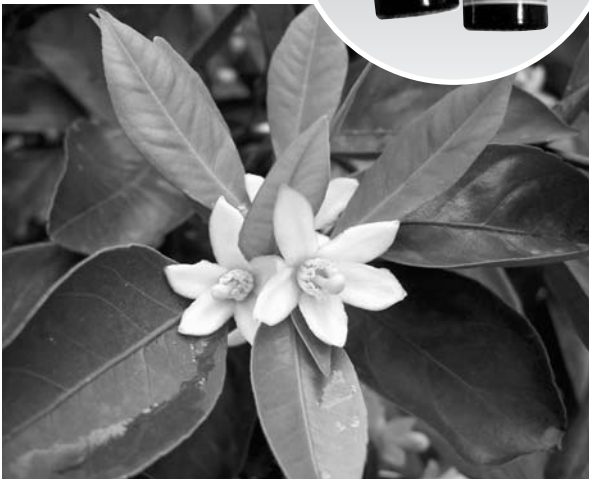
みかんやすだちの精油づくりに取り組むために、講習会の開催や機械を購入してはどうか。

問

花や木などの芳香成分（精油）を用いて、心身の健康や美容を増進するアロマが脚光を浴びている。



すだちやみかんでアロマ商品を



問

上勝、佐那河内、神山、石井では中学卒業まで医療費の無料化が実施されている。

子育て支援に力を入れている勝浦町でも、中学卒業までの医療費無料化を実施しては、町で実施すれば、どのくらいの費用が必要か。

答 町長

他町村の状況や財政面を考慮しながら検討する。

答 福祉課長

無料化に必要な費用は概算で約235万円である。

防災計画の見直しを

問

「勝浦町地域防災計画」によると、技術的に予測が困難な深層崩壊などについては、土砂災害警戒情報の発表対象としていないが、見直しをし、専門家の力を借りて町独自の対策をすべきでないか。

答 町長

また、すだちくんメール（県の災害情報）を町民全体に勧めてはどうか。深層崩壊についてはまだ

答 総務税務課長

学術的にも未解明であり、県や国の対応に沿ってやっ

すだちくんメールは全町民を対象に登録を勧めて行く。

安心して医療を

問

医療費が心配で病院にかかれな

答 総務税務課長

減免や猶予ができることの周知はして行くが、基準を設けるのではなく、現行通り個別に対応して行く。



国清 一治 議員

「えびすさん」で町おこし!

町を知ってもらう良い機会 (町長)



えびすさん (イラスト)

問 勝浦町は「えびす誕生の地」と言われるがその認識は。

答 教育長 勝浦町の前史に「沼江村にえびす誕生の地があった。それは生夷(いくい)の地」と書かれている。平安時代に勝浦の地に生まれたと言うことで、歴史的にも文化的にも大変価値のあるすばらしいものである。

問 掛谷の生夷神社では7月3日「えびす祭り」が開かれ、勝浦座による「えびす舞」が演じられ、参加者に「えびす饅頭」が配られた。

今後、町おこしの起爆剤として取り組んではどうか。

答 町長

えびす誕生の地として歴史もあり、勝浦町を知ってもらう良い機会。資源の一つとしてパンフレットなどで案内したいと考えている。



歴史ある生夷神社 (掛谷)

機能しなかった避難勧告

問 7月2日に台風12号が四国を直撃。豪雨のため正木ダムから「ただし書き操作」による放流が通告され、304世帯1859人に深夜、避難勧告が出されたが、避難したのはたったの13世帯26人。指定した避難所に職員の配置もしていない。

今回の避難勧告、町民が放送や報道に振り回され災害対策本部も全く機能して

今後、大災害時のいろいろな状況を想定して、防災訓練にも活かしたい。

答 町長

ダムからの通告が午後11時であったことや、避難勧告が深夜であり防災無線が十分伝わらなかった。職員も深夜であり配置をしなかった。

県道新浜勝浦線 現地踏査を

問

県道新浜勝浦線は生活道であり、防災上も非常に重要な幹線であるが、狭い部も多くほとんど改良・改修ができていない。県に強く要望して早急に現地踏査の実施をしては。

答 町長

地元の強い意向もあり、県に現地踏査を要望したい。

その他の質問

- 人形文化交流館の改修
- 産業振興



安心の防災 ①



3・11の「東日本大震災」や近い将来必ず起きると言われる「南海・東南海地震」に備え、議会では7月の改選後に新たに「防災対策特別委員会」を設置し、災害から町民の命を守り、安心して生活できる環境づくりをめざし調査・研究を進めております。

第1回の会議を7月29日に開き、町の「防災計画」の説明を受けました。

今後、防災に関する身近な課題・提案など「安心の

防災」としてシリーズで掲載します。

今回は、台風が本県を直撃または接近により豪雨をもたらし、「正木ダムから「ただし書き操作による放流通告」が再三あり、避難勧告も出されました。「これって何？ どういうこと」の声をよく聴きますので、特別委員会では10月17日に関係官を招き、各区長さんにも参加をお願いし報告を受けました。

正木ダム

ただし書き操作とは！

洪水調節を行うダムにおいて、想定された計画洪水量を超える洪水が発生し、このままではダムの水位がサーチャージ水位（洪水時満水位）を超えると予想される時のダム操作で、「緊急放流」とも言われる。

操作手順

- ① 洪水時にダムの水位が、サーチャージ水位到達が見込まれる状態を確認。
- ② 関係機関および住民に「ただし書き操作」を行う可能性があることを予告。
- ③ ダム管理事務所から管理者に、「ただし書き操作」の承認を得る。
- ④ 関係機関および住民に、操作開始を通知する。
- ⑤ 「ただし書き操作」開始。
- ⑥ 洪水の流入量が、洪水調節時の放流量まで下がったら操作を終了する。

災害や問題点

この操作によりダムの洪水調節機能がなくなり堤防の越流、決壊、家屋の浸水などの可能性があり、住民に正しく告知されなければ大災害の可能性が高くなる。

この操作を行うような大洪水は100年から200年に一度と言われており、頻繁に行われる状態は、ダムの貯水量の設定や治水計画そのものに問題がある。

ぶっついぞ! 勝中クラブ活動

楽しい仲間たちとのクラブ活動は青春の1ページとして人生の宝物になります。勝浦中学校のクラブ活動で活躍される皆さんをシリーズで紹介します。

まず1回目は、8月の第27回全日本少年春季軟式野球県大会で見事準優勝に輝いた野球部です。



谷監督のノック練習



新チーム13人のメンバー



勝中のマウンドを守る2人のエース
米澤君(右)と岩佐君



クリーンアップは
任せた!

引地君・藤本君・岩佐君

選手の抱負

岡本脩吾君
全国大会をめ

ざし、緊張感を持って練習しています。

影平昌耶君

谷先生の指導はきびしいですが、時にはやさしい面もあります。県大会優勝するぞ。

勝本慶幸君

礼儀正しさを大切にする谷先生のもと、県総体優勝が目標です。

鶴本拓海君

試合に出たいので、守備練習が一番がんばっています。

県総体優勝めざって

米澤キャプテンに聞く

新チームの特色は「1対0で勝てる守りの野球」で守備を中心に猛練習しています。

編集後記



7月改選後の9月定例会は初めてクールビズで行われた。

新人議員3人も一般質問に登壇し、町政の課題に鋭く切り込んだ。

今定例会は大きな台風が続いて襲来し、避難勧告も出されたことから防災に関する質問が多く、町には大きな課題が残った。

先日、こんな詩が目にとまった。

「凧が空高く飛べるのは誰かが糸を引っ張っているから

でも凧はその糸さえなければもっと自由に空を飛べると思っている

その糸がなければ落ちてしまうのも知らずに」

議会と執行側とは、よく車の両輪にたとえられるが、凧と糸の関係にも似ている。(公一)

